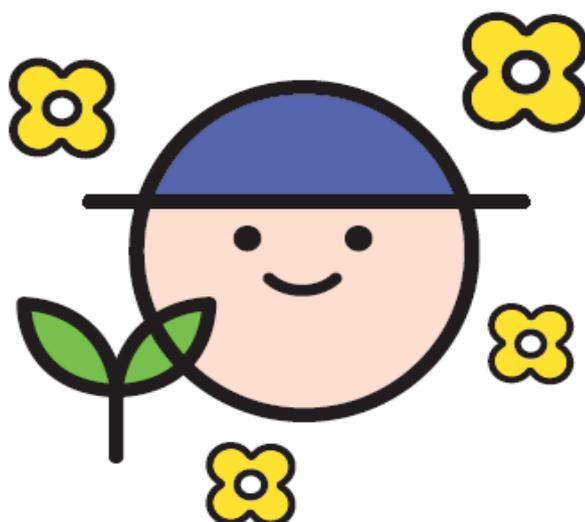


エコアクション21

# 環境活動レポート

(平成25年4月～平成26年3月)

これからのことを始めよう



環境企画設計・総合解体



**エコライン株式会社**

作成日 平成26年7月31日

## 目次

1. 組織の概要
2. 登録対象範囲
3. 環境方針
4. 実施体制
5. 環境目標
6. 環境目標の実績と評価
7. 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1. 組織の概要

【事業者名】 エコライン株式会社

【代表者】 代表取締役 藤本 剛

【所在地】 < 本社 > 静岡県静岡市駿河区南八幡町25番25号

TEL 054-289-6650 FAX 054-289-6616

< 本店 > 静岡県静岡市葵区鷹匠1丁目1番1号

※ 本店は、登記簿記載上の所在地であり、実際の事業活動は行っていません。

【資本金】 4,000万円

【設立年月日】 平成15年1月16日

【事業内容】 建物解体工事の請負

産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬及び処分

廃食油のバイオディーゼル燃料化

【管理責任者】 総務部長 杉山 充

【連絡先】 環境管理事務局 池端 小夜子

TEL 054-289-6650 FAX 054-289-6616

ホームページ : <http://www.eco-line.jp>

◆事業規模と建設業及び産業廃棄物処理業に関する許可

① 事業規模（本社及び中間処理場）

項 目		平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	百万円	831	1,053	832
従業員数 (人)	正社員	25	25	26
	パート	8	8	6
	合 計	33	33	33
敷地面積 (㎡)		1331.41㎡	1331.41㎡	1331.41㎡

決算月は3月。平成22年10月より本社は藤枝市から静岡市に移転。

(①-a) 事業規模（本社）

項 目		平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高 (百万円)		718	885	677
従業員数 (人)	正社員	18	18	20
	パート	2	2	1
	合 計	20	20	21
敷地面積 (㎡)		195.13㎡	195.13㎡	195.13㎡

(①-b) 事業規模（中間処理場・再生廃食油工場）

項 目		平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高 (百万円)		113	168	155
従業員数 (人)	正社員	7	7	7
	パート	6	6	5
	合 計	13	13	12
敷地面積 (㎡)		1,136.28㎡	1,136.28㎡	1,136.28㎡

(①-c) 事業規模（受託した産業廃棄物の処理量）

処理方法	廃棄物等種類	処分方法	処理量(t)
収集運搬	一般廃棄物		3.14
	産業廃棄物		3056.62
	特別管理廃棄物		6.59
中間処理		破砕	3275.09
		圧縮	664.2

②許可関係

<建設業許可>

地域	許可番号	許可年月日及び有効年月日	事業の区物・建設業の区分
静岡県知事許可(特-24)	第32383号	H25年 2月14日	特定建設業
		H30年 2月13日	土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、内装仕上工事業、水道施設工事業

<産業廃棄物収集運搬業許可>

地域	許可番号	許可年月日及び有効年月日	事業の区分・廃棄物の種類
静岡県	第02201103973号	H25年6月26日	産業廃棄物収集運搬（積替え、保管を除く）
		H30年6月25日	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)、汚泥、廃油、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ 以上10品目
東京都	第13-00-103973号	H25年8月27日	産業廃棄物収集運搬（積替え、保管を除く）
		H29年8月26日	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) 以上10品目
神奈川県	第01405103973号	H24年9月 4日	産業廃棄物収集運搬（積替え、保管を除く）
		H29年9月 3日	汚泥、廃油、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む) 以上10品目
福島県	第00707103973号	H24年7月19日	産業廃棄物収集運搬（積替え、保管を除く）
		H29年7月18日	廃プラスチック類、金属くず、木くず、紙くず、繊維くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上7品目

<特別管理産業廃棄物収集運搬業許可>

地域	許可番号	許可年月日及び有効年月日	事業の区分・廃棄物の種類
静岡県	第02251103973号	H23年 4月17日	特別産業廃棄物収集運搬（積替え、保管を除く）
		H28年 4月16日	特定有害廃石綿等 以上1品目
京都府	第02650103973号	H23年 5月15日	特別産業廃棄物収集運搬（積替え、保管を除く）
		H28年 5月14日	廃石綿等 以上1品目
東京都	第13-54-103973号	H23年 7月24日	特別産業廃棄物収集運搬（積替え、保管を除く）
		H28年 7月23日	廃石綿等 以上1品目
神奈川県	第01455103973号	H23年 9月25日	特別産業廃棄物収集運搬（積替え、保管を除く）
		H28年 9月24日	廃石綿等 以上1品目



### 3. 環境方針

#### (基本理念)

当社は、解体工事業、廃棄物処理業としての事業活動を行う中で、環境に影響を与える立場であることを認識し、環境問題への対応を経営の重要事項としてとらえ、全社員一丸となって地球環境保全に努めます。

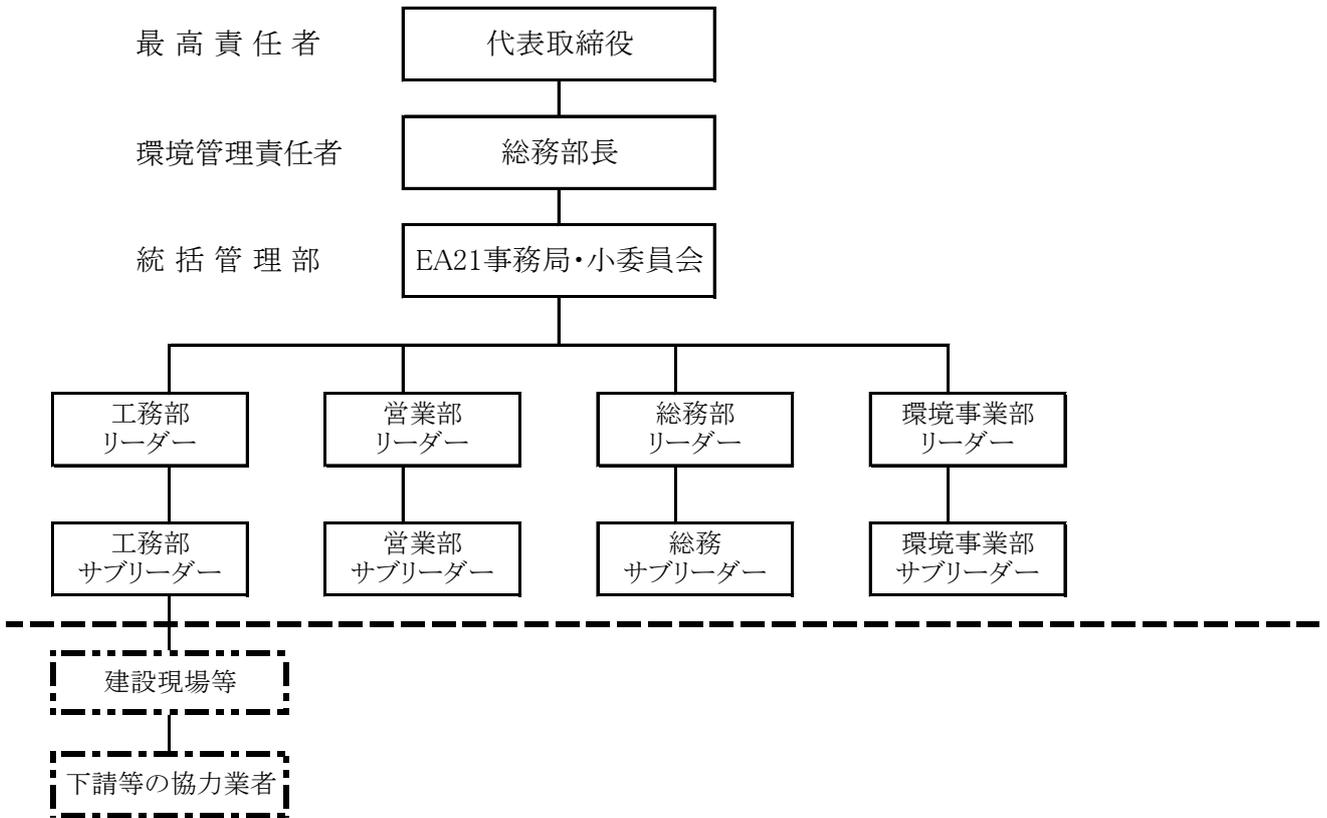
#### (行動指針)

1. 各事業所の環境に関連する対策として、次のことを推進します。
  - ① 地球温暖化防止として、省エネルギーを推進します。(二酸化炭素排出量の削減)
  - ② 環境汚染防止として、資源の有効利用を目指し、リサイクルを推進します。
  - ③ 節水に努めます。(水使用料の削減)
2. 近隣・地域の環境保全並びに、工場内の環境衛生のために最善の努力をします。
3. 環境関連法規制を遵守し、地域社会との調和に努めます。
4. 環境方針を達成するため、環境目標を設定し、全従業員で取り組みます。

平成19年9月1日 制定

エコライン株式会社  
代表取締役社長 藤本 剛

#### 4. 実施体制



#### ■ 役割と責任・権限

役割	担当者	責任・権限
最高責任者	代表取締役	1. EA21の実施及び管理に不可欠な資源の用意 2. 環境方針の策定及び見直し 3. 環境管理責任者の任命
環境管理責任者	総務部長	1. 最高責任者に代わってシステムを構築し、運用する 2. 最高責任者に結果を報告する
総括管理部	EA21事務局 ・小委員会	1. 環境管理責任者に代わってデータの収集を行う 2. 各部署へEA21の達成目標を周知する 3. 各部署の実施状況を把握し環境管理責任者に報告する 4. 必要な教育訓練を計画し、実施する
部門長	リーダー・ サブリーダー	1. 省資源、省エネ、節水を奨励及び推奨する 2. 必要な教育訓練を計画し実施する 3. EA21の目標達成を推進及び確認し、環境管理責任者の了承の下、必要な是正処置、改善を実施する 4. 公害防止、緊急事態への予防処置を実施する
全社員		1. 部門長の下、省資源、省エネ、節水に努める 2. EA21の取り組みに関する教育訓練を実施する

## 5. 環境目標

●基準年度については、本社移転・営業所統合などを考慮し、平成23年度を基準値とした。

●基準年より毎年▲0.5%を削減を目標とする。

### (1) 総務・営業

項目		単位	基準年	目標値		
			平成23年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	13,356	13,222	13,156	13,089
	ガソリン	ℓ	15,229	15,077	15,001	14,924
	軽油	ℓ	0	0	0	0
	総排出量	kg-co2	41,621	41,205	40,997	40,789
水使用量		m3	79	78	78	77
一般廃棄物		kg	154	152	152	151

### (2) 工務部門

項目		単位	基準年	目標値		
			平成23年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	8,307	8,224	8,182	8,141
	ガソリン	ℓ	15,822	15,664	15,585	15,506
	軽油	ℓ	0	0	0	0
	総排出量	kg-co2	40,629	40,223	40,020	39,816
水使用量		m3	1,599	1,583	1,575	1,567
一般廃棄物		kg	91	90	90	89
産業廃棄物		t	2,315	2,292	2,280	2,269

### (3) 中間処理センター

項目		単位	基準年	目標値		
			平成23年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	26,696	26,429	26,296	26,162
	ガソリン	ℓ	2,139	2,118	2,107	2,096
	LPG	kg	240	238	237	235
	軽油	ℓ	16,499	16,334	16,252	16,169
	総排出量	kg-co2	61,432	60,818	60,511	60,203
水使用量		m3	203	201	200	199
一般廃棄物		kg	0	0	0	0
産業廃棄物		t	2,854	2,825	2,811	2,797

### (4) 総合計

項目		単位	基準年	目標値		
			平成23年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
二酸化炭素 排出量	電力	kwh	48,359	47,875	47,634	47,392
	ガソリン	ℓ	33,190	32,858	32,692	32,526
	LPG	kg	240	238	237	235
	軽油	ℓ	16,499	16,334	16,252	16,169
	総排出量	kg-co2	143,682	142,245	141,527	140,808
水使用量		m3	1,881	1,862	1,853	1,843
一般廃棄物		kg	245	243	241	240
産業廃棄物		t	5,169	5,117	5,091	5,066

注) 二酸化炭素排出量については、中部電力(株)平成23年度より算出した係数0.469を引用  
また、購入電力CO2換算係数を平成23年度実績より、0.469を使用。

## 1.売上高100万円単位での来期以降の目標

項目			平成23年度	平成26年度	平成27年度
			100%(基準年)	98.5%	98%
売上高100万円当りの二酸化炭素排出量 (kg-CO2/百万円)	電力	kwh	58.2	57.3	57.0
	ガソリン	ℓ	39.9	39.3	39.1
	LPG	kg	0.300	0.304	0.294
	軽油	ℓ	19.9	19.6	19.5
	総排出量	kg-co2	172.9	170.3	169.4

注)平成23年度売上高(本社及び中間処理場)を基準年とする。

## 【環境活動計画内容】 全社取組(各部門共通取組)

### (1) 二酸化炭素排出量削減のための取り組み

#### ① 購入電力の削減

- ・事務所入り口自動ドアの開閉設定変更
- ・エアコンスイッチの消し忘れ表示及びタイマー設定
- ・通風の活用、扇風機の併用
- ・クールビズ・ウォームビズの事務所内での奨励
- ・エアコン設定温度(夏季:28℃、冬季:23℃に設定)
- ・無人の箇所の蛍光灯を消す、昼休みの消灯
- ・使用後の事務機器及び使用しない機器の電源をOFF

#### ② 化石燃料の削減

- ・社有車・重機のアイドリングストップ
- ・営業車及び運搬車のエコドライブ教育(ゆったり運転)
- ・タイヤ空気圧の定期的な点検と適正值の遵守
- ・社有車、買換時エコカー(ハイブリッド)・コンパクトカーへの移行推進
- ・社有車のタイヤ交換時における低燃費タイヤへの切替の実施
- ・重機へのバイオディーゼル燃料の利用による化石燃料の削減
- ・排ガス、騒音等の削減のため適正な車両整備

### (2) 水使用量の削減

- ・洗車・作業場清掃時の節水(安全パトロールでのチェック)
- ・使用後の止水確認
- ・水道管からの水漏れチェック

### (3) 廃棄物総排出量の削減

- ・ビン・缶・ペットボトル・古紙等の資源ゴミの分別とリサイクルの推進
- ・建設廃材の分別化によるリサイクル(再資源化)の推進
- ・解体現場より発生した廃材及び資材の再利用

### (4) 紙類使用量の削減

- ・コピー用紙の裏紙利用
- ・テスト印刷の実施(多量プリント時)によるミスプリントの削減
- ・メールの活用によるFAX送信時のペーパーレスの実施

### (5) グリーン購入の促進

- ・事務用品・トイレトペーパー等エコマーク商品の購入促進

### (6) 環境保全意識の向上

- ・社員教育の実施(途中入社社員)
- ・環境方針の周知徹底(各部会での啓蒙)
- ・環境上の緊急事態への準備と対応(訓練の実施)
- ・協力業者へエコアクション21取り組みの協力要請

### (7) 地域環境

- ・近隣住民に対して騒音・振動の対策を実施
- ・地域清掃活動への参加(清掃活動等)

<総務・営業部門>

(1) 二酸化炭素排出量削減のための取り組み

① 購入電力の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務所入り口自動ドアの開閉設定変更</li><li>・エアコンスイッチの消し忘れ表示及びタイマー設定</li><li>・通風の活用、扇風機の併用</li><li>・クールビズ・ウォームビズの事務所内での実施</li><li>・エアコン設定温度(夏季:28℃、冬季:23℃に設定)</li><li>・無人の箇所の蛍光灯を消す、昼休みの消灯</li><li>・使用後の事務機器及び使用しない機器の電源をOFF</li></ul>
② 化石燃料の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・社有車のアイドリングストップ</li><li>・営業車及び運搬車のエコドライブ教育(ゆったり運転)</li><li>・営業車へのエコドライブ項目の掲示</li><li>・社有車、買換時エコカー(ハイブリッド)・コンパクトカーへの移行推進</li><li>・社有車メンテナンスの定期実施</li></ul>
(2) 水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・節水表示</li><li>・使用後の止水確認</li></ul>
(3) 廃棄物総排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・オフィスごみの減量に努める</li><li>・ビン・缶・ペットボトルの分別の徹底</li></ul>
(4) 紙類使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・コピー用紙の裏紙利用の徹底</li><li>・テスト印刷の実施(多量プリント時)</li><li>・メールの活用とFAX送信時のペーパーレスの実施</li></ul>
(5) グリーン購入の促進	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務用品・トイレットペーパー等エコマーク商品の購入</li><li>・作業着のエコマーク商品への切り替え</li></ul>
(6) 環境保全意識の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・社員教育の実施</li><li>・環境方針の周知徹底</li></ul>
(7) 地域環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域清掃活動への参加</li></ul>

<工務部門>

(1) 二酸化炭素排出量削減のための取り組み

① 電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・使用後の機械及び使用しない機械の電源をOFF</li></ul>
② 化石燃料の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・重機のアイドリングストップ</li><li>・車両の定期点検の実施</li><li>・軽油使用車へのバイオディーゼル燃料の利用による化石燃料の削減</li></ul>
(2) 建設廃材の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・建設廃材の分別化</li><li>・解体現場より発生した廃材及び資材は再利用する</li></ul>
(3) 水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・現場水道への節水表示</li><li>・使用時以外は、水道を止める</li><li>・安全パトロール時の節水表示の確認</li></ul>
(4) 環境保全意識の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・社員教育の実施</li><li>・安全パトロール時のチェック項目の追加と指摘</li><li>・環境方針の周知徹底</li><li>・協力業者へのエコアクション21取り組み協力要請</li></ul>

<中間処理センター>

(1) 二酸化炭素排出量削減のための取り組み

- ① 電気使用量の削減
  - ・エアコン設定温度(夏季:28℃、冬季:23℃に設定)
  - ・照明灯のこまめな切り替え
  - ・使用後の機械及び使用しない機械の電源をOFF
- ② 化石燃料の削減
  - ・重機のアイドリングストップ
  - ・営業車及び運搬車のエコドライブ教育
  - ・営業車へのエコドライブ項目の掲示
  - ・重機へのバイオディーゼル燃料の利用による化石燃料の削減
  - ・排ガス、騒音等の削減のため適正な車両整備

(2) 水使用量の削減

- ・使用後の止水確認
- ・洗車・作業場清掃時の節水
- ・水道管からの水漏れチェック

(3) 処理センターの環境への取り組み

(再生利用割合の増加、  
最終処分割合の減少を  
目標とする)

- ・素材別の分別を徹底する
- ・マテリアルリサイクル→サーマルリサイクル→最終埋立処分の順で  
リサイクル率を高める

(4) 化学物質の管理

- ・化学物質の適正管理とルールへの遵守

(5) 環境保全意識の向上

- ・近隣住民に対して粉塵・防音対策の実施
- ・社員教育の実施
- ・環境上の緊急事態への準備と対応(部門別訓練訓練の実施)
- ・環境方針の周知徹底

## 6. 環境目標の実績

### (1) 総務・営業

項目	単位	平成25年度				
		目標値	実績	達成率	評価	
二酸化炭素排出量	電力	kwh	13,222	11,934	90.3%	○
	ガソリン	ℓ	15,077	11,688	77.5%	○
	軽油	ℓ	0	0	-	-
	総排出量	kg-co2	41,205	32,733	79.4%	○
水使用量	m3	78	62	79.5%	○	
一般廃棄物	kg	152	134	88.2%	○	

### (2) 工務部門

項目	単位	平成25年度				
		目標値	実績	達成率	評価	
二酸化炭素排出量	電力	kwh	8,224	8,727	106.1%	○
	ガソリン	ℓ	15,664	17,286	110.4%	○
	軽油	ℓ	0	0	-	-
	総排出量	kg-co2	40,223	44,227	110.0%	○
水使用量	m3	1,583	2,801	176.9%	×	
一般廃棄物	kg	90	79	87.8%	○	
産業廃棄物	t	2,292	19,131	834.7%	×	

### (3) 中間処理センター

項目	単位	平成25年度				
		目標値	実績	達成率	評価	
二酸化炭素排出量	電力	kwh	26,429	29,456	111.5%	△
	ガソリン	ℓ	2,118	1,361	64.3%	○
	LPG	kg	238	230	96.6%	○
	軽油	ℓ	16,334	19,151	117.2%	△
	総排出量	kg-co2	60,818	67,930	111.7%	△
水使用量	m3	201	180	89.6%	○	
一般廃棄物	kg	0	0	-	-	
産業廃棄物	t	2,825	3,939	139.4%	△	

### (4) 総合計

項目	単位	平成25年度				
		目標値	実績	達成率	評価	
二酸化炭素排出量	電力	kwh	47,875	50,117	104.7%	○
	ガソリン	ℓ	32,585	30,335	93.1%	○
	LPG	kg	238	230	96.6%	○
	軽油	ℓ	16,334	19,151	117.2%	△
	総排出量	kg-co2	142,246	144,890	101.9%	○
水使用量	m3	1,862	3,043	163.4%	×	
一般廃棄物	kg	242	213	88.0%	○	
産業廃棄物	t	5,117	23,070	450.9%	×	

★目標達成状況 達成率 ○ 110%未満 △ 110%以上～120%未満 × 120%以上

## 7. 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### (1) 二酸化炭素排出量削減

① 購入電力の削減	取組結果	実績評価	次年度計画
・事務所入り口自動ドアの開閉設定変更	無駄なドア開閉無し	○	継続実施
・エアコンスイッチの消し忘れ表示及びタイマー設定の実施	3時間設定により消し忘れ無し	○	〃
・通風の活用、扇風機の併用	扇風機併用の実施	○	〃
・クールビズ・ウォームビズの事務所内での実施	掲示物にて意思表示	○	〃
・エアコン設定温度(夏季:28℃、冬季:23℃に設定)	設定温度遵守	○	〃
・無人の箇所の蛍光灯を消す、昼休みの消灯	一部消し忘れあり	△	〃
・使用後の事務機器及び使用しない機器の電源をOFF	確認表示の掲示	○	〃

② 化石燃料の削減	取組結果	実績評価	次年度計画
・社有車・重機のアイドリングストップ	取組カードの掲示	○	継続実施
・営業車及び運搬車のエコドライブ教育(ゆったり運転)		○	〃
・社有車のタイヤ空気圧の定期的な点検と適正値の遵守	月1回朝礼時に点検・実施	○	〃
・社有車、買換時エコカー(ハイブリッド)・コンパクトカーへの移行推進	コンパクトカーへの切替→実績(2台)	○	〃
・社有車のタイヤ交換時における低燃費タイヤへの切替の実施	交換時に随時切替	○	〃
・重機へのバイオディーゼル燃料の利用による化石燃料の削減	自社重機への実施	○	〃
・排ガス、騒音等の削減のため適正な車両整備	定期点検実施	○	〃

(2) 水使用量の削減	取組結果	実績評価	次年度計画
・節水表示洗車・作業場清掃時の節水(安全パトロールでのチェック)	現場ごとに掲示の実施と確認	○	継続実施
・使用後の止水確認		○	〃
・水道管からの水漏れチェック	水道メーターの定期点検年2回実施	○	〃

(3) 廃棄物総排出量の削減	取組結果	実績評価	次年度計画
・ビン・缶・ペットボトル・古紙等の資源ゴミの分別とリサイクルの推進	完全分別の実施	○	〃
・建設廃材の分別化によるリサイクル(再資源化)の推進	現場ごとに推進	○	〃
・解体現場より発生した廃材及び資材の再利用(現場での呼び掛け)		○	〃

(4) 紙類使用量の削減	取組結果	実績評価	次年度計画
・コピー用紙の裏紙利用の徹底	社内文書への利用	○	継続実施
・テスト印刷の実施(多量プリント時)によるミスプリントの削減	掲示にて意識向上	○	〃
・メールの活用とFAX送信時のペーパーレスの実施	メールの活用○ FAXの実施×	△	〃

(5) グリーン購入の促進	取組結果	実績評価	次年度計画
・事務用品・トイレトーパー等エコマーク商品の購入促進	購入の励行	○	継続実施

(6) 環境保全意識の向上	取組結果	実績評価	次年度計画
・社員教育の実施(途中入社社員)	総務部にて対応	○	継続実施
・環境方針の周知徹底(各部会での啓蒙)	各グループリーダーが中心となって推進	○	〃
・環境上の緊急事態への準備と対応(部門別)	部門ごと実施した	○	〃
・協力業者へエコアクション21取り組みの協力要請	協力業者に要請	○	〃

(7) 地域環境	取組結果	実績評価	次年度計画
・近隣住民に対して粉塵・防音対策の実施	養生シート・防塵対策・エコドライブ	○	継続実施
・地域清掃活動への参加	地域活動への参加	○	〃

## 8. 環境関連法令等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反訴訟の有無

### (1) 環境関連法規等の遵守状況

法規・条例・規制	内 容	遵守状況
環境基本法	環境の保全に関する施策の基本事項を定める法律	○
循環型社会形成推進基本法	環型社会の形成に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的	○
地球温暖化対策推進法	京都議定書を受け、国・地方公共団体・事業者・国民が一体となり地球温暖化対策に取り組むための枠組みを定めている	○
グリーン調達法	国などによる環境物品等の調達の推進等に関する法律	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	循環型社会の形成を推進する基本的な枠組みとなる事項を定める法律	○
産業廃棄物の適正な処理に関する条例	静岡県・静岡市・浜松市	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物を排出する際のリサイクル料の支払、再商品化等の義務付け等を定めている	○
建設リサイクル法	建設工事に係る資源の有効な利用と廃棄物の適正処理を図る法律	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の再資源化に関する法律	○
騒音規制法	静岡県生活環境の保全に関する条例・施工規則	○
振動規制法		○
悪臭防止法		○
土壌汚染対策法	土壌汚染対策の実施を図り、国民の健康を保護する	○
大気汚染防止法(粉塵)	大気の汚染に関し、国民の健康を保護するとともに生活環境を保全し、被害者の保護を図ることを目的とする	○
消防法	火災発生防止のための法律	○
建築基準法	構築物を建設する際や建築物を安全に維持するための技術基準	○
労働安全衛生法	労働者の安全と衛生についての最低限の基準を定めた法律	○
フロン回収破壊法	特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	○

### (2) 違反・訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規について順守状況を点検した結果、上記の通り違反なく関係法規を遵守していることを確認しました。また、関係行政当局より違反等の指摘及び付近住民等からの苦情も過去3年間はなく、訴訟についてもありません。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

弊社は、解体工事業と産業廃棄物処理業を営んでおります。

解体工事業における現場では産業廃棄物飛散防止の留意、水の使用量についても毎月行っている現場ごとの安全パトロール時の水道使用量チェック、近隣への騒音対策にエコドライブ運転の実施を協力業者と共に地域環境配慮への取組を行っています。

水の使用量については、総務・営業と中間処理センターでは目標を達成することができましたが工務部門では目標を達成することができませんでした。原因は、解体作業において近隣への粉塵飛散防止対策のための散水によるものが要因となっております。

産業廃棄物の排出量については、事業規模の増加による環境負荷要因があり解体工事現場での分別の徹底により再資源化に取り組んでおります。

産業廃棄物処理業は中間処理施設を有し、選別作業及び破碎・圧縮処理によってリサイクル率を高め、最終処分(埋立)比率の減量を心掛けております。

今後も、安全第一で環境と工事現場付近の住民の方々にも配慮していく事業展開を引き続き行いエコアクション21に沿った環境経営システムを確立し、事業活動に生かしていく所存でございます。

平成26年7月10日

代表取締役 藤本 剛